

紙上交流誌

わ っ か

令和 2 年 3 月 1 日
第 61 号
ねん 年 1 回 発行 ころ 行

発行所 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ8階
TEL 022-266-0294 FAX 022-266-0292
Eメール: office-p@shinsyou-sendai.or.jp

編集 紙上交流事業編集委員会
仙台市知的障害者関係団体連絡協議会
特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

写真、イラスト、短歌、俳句、紹介、募集などの記事(点字のものでも可)を、お手紙やFAX
で随時募集しております。

令和元年度仙台市「障害者週間のポスター」

小学生部門 最優秀賞



仙台市立錦ヶ丘小学校3年
佐藤穂ノ花さん

中学生部門 優秀賞



聖ドミニコ学院中学校2年
大野くるみさん

「わっか」の「わ」は身体・知的・精神障害者の「話」であり、おしゃべりすることで「輪」を広げ、「和」を進めよう、という意味が込められています。

仙台市障害者による
書道・写真・絵画コンテスト
入賞作品決定

仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト（第34回障害者による書道・写真全国コンテストの予選を兼ねる）の審査会が令和元年9月6日（金）に行われました。今年は書道の部72点、写真の部39点、絵画の部37点の応募があり、審査の結果、書道、写真、絵画の各部で金賞2点、銀賞4点、銅賞6点が選ばれました。

なお、入賞者は次のとおりです。（○印の作品は第34回障害者による書道・写真全国コンテスト推薦作品になります。絵画の部は全国コンテストがございません）
推薦はありません
各部門金賞作品のテーマやコメントをご紹介します。

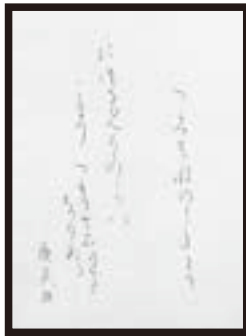
書道の部 金賞



斎藤大輝さん
『波』

● 作者コメント

僕は大好きな海へ行きました。おおきな波をおもいつきりかきました。



柴崎優美さん
『古今和歌集』

● 作者コメント

百人一首より、変体かなが多くて難しかった。墨色のバランスも難しかった。

写真の部 金賞



佐野礼子さん
『安達ヶ原』

● 作者コメント

6月の初夏の暑い陽ざしの中、初めて撮った写真。初めてにぎったカメラです。記念に応募します。



佐藤笑美子さん
『見て!』

● 作者コメント

毎夏、帰省する度にその成長ぶりを見るのが楽しみです。

絵画の部 金賞



吉田ひろ子さん
『春の庭』

● 作者コメント

今回はじめて風景画に挑戦してみたので、明暗のつけ方や奥行き等を表現するのは難しいなと思いました。



すぎしましょうじさん
『バック・トゥ・ザ・フューチャー』
(デロリアン)

● 作者コメント

車の絵を書いてみました。

れいわがねんど せんだいししょうがいしゃ しょうどう しゃしん か い が にゅうしょうしゃいちらん
令和元年度 仙台市障害者による書道・写真・絵画コンテスト入賞者一覧

【書道の部】

敬称略

しょう 賞		しめい 氏名		さくひんめい 作品名		しょう 賞		しめい 氏名		さくひんめい 作品名	
きん 金賞		さい 斎	たいてい 藤大輝	なみ 波		どう 銅賞	○	さく 佐	さく 藤	さく 芳江	れいわ 令和
きん 金賞	○	しば 柴	さく 崎	ゆう 優	めい 美	どう 銅賞	○	い 伊	さく 藤	れいお 怜央	てんしん 天心
ぎん 銀賞	○	やな 柳	かわ 川	まき 真	ひろ 宏	どう 銅賞	○	みや 宮	もと 本	ちはる 千春	れいわ 令和
ぎん 銀賞	○	しょう 庄	じ 子	やす 泰	こ 子	どう 銅賞	○	だい 大	こ 越	かづら 桂	ひかり
ぎん 銀賞	○	はや 早	さか 坂	しゅん 惇	ぜんと 前途	どう 銅賞	○	はせ 長谷	さわ 川	ようこ 洋子	わも 和を持って
ぎん 銀賞	○	まつ 松	だ 田	み み	ほ 歩	どう 銅賞	○	おお 大	いずみ 泉	きょう 恭子	ばいか 梅花雪和香

【写真の部】

敬称略

賞		氏 名		作 品 名		賞		氏 名		作 品 名	
金 賞	○	佐 野 礼 子	あだちがはら	銅 賞	○	千 葉 弘	みやきょうだいせい	宮教大生・神楽舞う			
金 賞	○	佐 藤 笑美子	みて！	銅 賞	○	丸 子 正 人	きょうは、あついひ	キョウハ、アツイ日			
銀 賞	○	中 田 純 人	あれは、なに？	銅 賞	○	成 松 洋 一	ふじさん	富士山			
銀 賞		三 浦 正 利	ふるさと村に、、、	銅 賞	○	河 本 悟	しあわせのきいろのだいち	幸せの黄色い大地			
銀 賞	○	あらか木 汰 樹	「ハー！夏休みは、 まだ先」	銅 賞	○	はや 川 スミ子	にこにこくん	にこにこ君			
銀 賞	○	いわもと 本 浄	あまやど 雨宿り	銅 賞	○	い 藤 怜 央	「れお君！切るよ～！」	「れお君！切るよ～！」			

【絵画の部】

敬称略

賞	氏 名	作 品 名	賞	氏 名	作 品 名
金 賞	吉 田 広 子	春の庭	銅 賞	佐 藤 海 飛	太陽と花びら
金 賞	杉 上 彰 治	バック・トゥ・ザ・フューチャー（デロリアン）	銅 賞	佐 藤 竜 太	ロックと浄土（それぞれの 方法論）
銀 賞	秋 山 祥 子	バラ	銅 賞	伊 藤 繁	美しい日本
銀 賞	伊 藤 怜 央	思いのままに	銅 賞	加 藤 雪 斗	なるごあき 鳴子の秋
銀 賞	羽 賀 裕 美	暫	銅 賞	根 本 健 成	信号
銀 賞	川 辺 拓 也	ぼくのくつ	銅 賞	西 山 佳 佑	カラフルな生き物

第34回 障害者による 書道・写真全国コンテスト 入賞者決定

第34回 障害者による書道・写真コンテストには、全国から955点、書道の部804点、写真の部130点、携帯フोटの部21点の応募がありました。審査員による厳正な審査の結果、仙台市より推薦されたの方々が入賞されました。

書道の部

金賞

佐藤 芳江様「令和」

銅賞

柴崎 優美様「古今和歌集」

写真の部

金賞

佐藤 笑美子様「見て！」
早川 スミ子様「にこにこ君」

携帯フोटの部

入賞

伊藤 怜央様「れお君ー切るよー」

「障害者週間のポスター」 最優秀賞作品

「障害者週間のポスター」は障害の有無に関わらず誰もが能力を発揮して、安全に安心して生活できる社会実現」をテーマに平成5年度から募集を行っているものです。

今年度は、19名の方からご応募をいただきました。どの作品も色彩豊かでダイナミックに描写され、言葉を使わなくても作者のメッセージ性が伝わる作品となっていました。

選考の結果、小学生部門では仙台市立錦ヶ丘小学校3年の佐藤穂ノ花さんが最優秀賞を、中学生部門では聖ドミニコ学院中学校2年の大野くるみさんが優秀賞を受賞されました。

小学生部門の佐藤穂ノ花さんの作品が、全国で佳作を受賞しました。

小学生部門 最優秀賞

仙台市立錦ヶ丘小学校 3年

佐藤 穂ノ花 さん

「盲導犬どこまでも」



作者コメント

この絵では、しょうがい者と、もうどう犬が同じ方向に向かって歩いています。進む方向だけでなく、心も共に同じ方向を向いているというメッセージをこめてかきました。

しょうがい者の方の心の支えになる、もうどう犬が活やくしやすい社会になってほしいと思います。

中学生部門 最優秀賞

聖ドミニコ学院中学校 2年

大野 くるみ さん

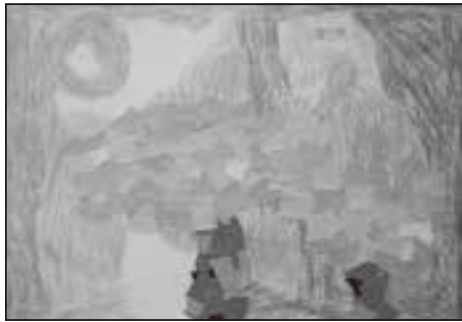
助け合い



「障害者週間」について

「障害者週間」は、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、毎年12月3日から12月9日までの1週間が設定されています。

だいめい
題名 「さくら」

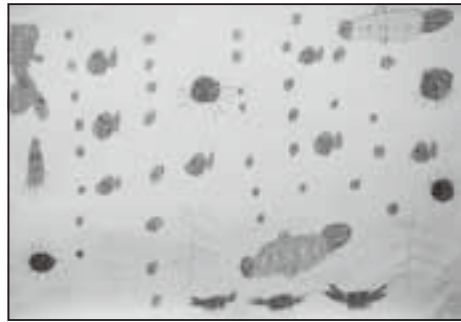


た まる えい き
田 丸 瑛 規さん

● さくしゃ
作者コメント

「お花見に行きました。花
か
描きました」

だいめい せんすいかん ごう
題名 「潜水艦オレンジバリア号」



い とう あつし
伊 藤 敦さん

● さくしゃ
作者コメント

「この潜水艦は、魔王サメー
うを倒して海底を守り、そし
て世界を救う作品です」

作品
コーナー

たまご焼き

P.N スカイブルー

たまご や たまご や ただ じ
玉子焼き？それとも卵焼き？どちらが正しい字なのだろう。

ど ち ら で も い い が 私 は 卵 焼 き と い う 字 が 好 き だ 。

い ま わ た し か よ し せ つ は は て つ く べ ん と う た
今、私は通っている施設で母の手作り弁当を食べている。

そ の お か ず の 中 に 必 ず 甘 い 甘 い た ま ご や の た の
そのおかずの中に必ず甘い甘い玉子焼きを頼んでいる。

そ ん ざ い か ん お お か た ち く ず や こ
存在感のある大きなもので、形が崩れ、そして焼き焦げている。

さ と う い た ま ご や き ね っ た め こ げ
砂糖とみりんの入れすぎで、なおかつ玉子焼き器を熱しすぎる為に焦げるのだろう。

お お ざ っ ぱ は は つ く か た
大雑把な母らしい作り方だ。

こ の た ま ご や で き ば た い い ち と あ ま き ら あ に き わ た し
この玉子焼きの出来栄えに対し、妹は、甘いのは嫌い！兄貴のだけにして！私

は し ょ っ ぱ い 方 が い い ！ と 、 い つ も ハ ッ キ リ と 言 う 。

は は た ま ご や わ た し た い あ ま
母は玉子焼きだけでなく私に対しても甘いようだ。

し か し 、 す で に 四 十 を 過 ぎ て た 私 は い く ら 施 設 に 通 っ て い る と は い え 、 い い か
しかし、すでに四十を過ぎてた私はいくら施設に通っているとはいえ、いいか

げ ん 親 離 れ し な い と い け な い 歳 だ 。

い ち ど い っ ぱ ん し ゃ か い で わ た し い ち ど い っ ぱ ん し ゃ か い で も く ひ ょ う
一度、一般社会に出たことのある私は、もう一度一般社会に出ることを目標に

し て い る 。

ま ず 、 自 分 一 人 で 出 来 る と ころ か ら 少 し ず つ ク リ ア で き る よ う に 頑 張 り た い 。

だ い じ ょ う ぶ じ ゅ ん い き
大丈夫！と、自分に言い聞かせて……。

● 題名
「リング」

ペンネーム N.Wさん

● テーマまたは、作品に込めた思い

冊子のタイトル、「わっか」とお聞きして、私が思い浮かべたのは、「リング」。今回のお話を頂いてからの書き下ろしになります。左手の薬指に指輪。ポピュラーだけど、人生において一番意味深いものではないでしょうか。「わっか」の数だけ幸せが芽生えますように。

● 題名
「サンタちゃん」

ペンネーム N.Wさん

● テーマまたは、作品に込めた思い

「サンタちゃん」は、私が所属する「NPO法人シャロームの会」の通信（2019年冬号）の表紙として使って頂いたものです。私は、リボンが憧れで、おじいちゃんサンタならぬ、サンタちゃんが誕生した訳です。

だいめい
題名 「謹賀新年」

さ とう 藤 ゆう子さん

● 作者コメント

丸い初日の出の色をカラフルに塗るのを頑張りました。

だいめい
題名 「ボウリング」

さ さ き ま お さん

● 作者コメント

「ボウリング大会に出ました。楽しかったです」

紙上交流誌「わっか」は、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.shinsyousendai.or.jp/>

「紙上交流誌」で検索